



## 子ども医療費助成制度の拡充を再度問う

大坪 国広 議員（共産）

町長 都の動向を注視していく

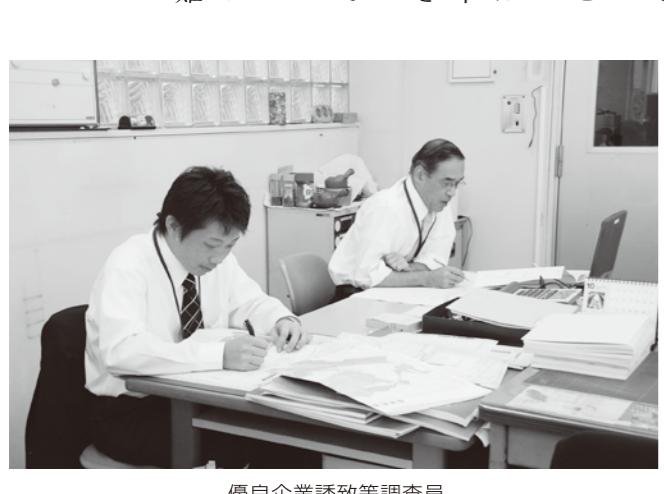
**質問** 昨年からの経済危機は、子育て家庭を直撃し、更なる経済的負担が増し支援が望まれている。都は、21年10月より中学3年生までの医療費の自己負担を全額公費負担とした。次の2点について所見を伺う。

**問①** 西多摩でも助成に係る所得制限のある自治体は、あきる野市と瑞穂町だけであり撤廃するべきと思うが。

**質問** 通院1回200円の自己負担分についても助成するべきと思うが。

**町長** 医療保険制度は相互扶助の精神が基本で、医療にかかるときには自己負担があることを受診者に理解していただきためにも、一部負担をお願いしている。したがって、この助成は、今のところ難しいと考えている。

3歳児健診（保健センター）



優良企業誘致等調査員

6月定例会一般質問に対し、「緊急生活・雇用対策を活用し、雇用制度を創出事業を検討する。」と答えていたがその内容について伺う。

町長 雇用創出区市町村補助金は、新規雇用を伴う新たな事業の経費を補助するもので、その事業実施要件には、区市町村自らが企画する新規事業で、事業費に占める人件費の割合を5割以上にすること、一人以上新規雇用すること、雇用期間を2ヶ月以上とすることなど、厳しい条件がある。町では、検討した結果、企業誘致にかかる調査や瑞穂ブランドの開発などにかかる嘱託員を採用することにし、今議会に補正予算を計上した。

町長 新規事業に嘱託員を採用

## 緊急生活・雇用対策について

小池 信一郎 議員（自民）



**質問** 町の消防団は、規律正しく安全・迅速・正確に消火・防火・救助などの活動ができるよう日夜努力し、町民の生命・財産を守り、

町の防災訓練に参加・協力する武藏野自衛消防隊

第三分団は横田基地で分断された武藏野地区も担当し、またこの地区は都営住宅の改築などで世帯数が増加している現状にあり、地区や人員等の改善の必要があるが、町長の所見を伺う。

町長 武藏野地区では、平成6年から有志が、武藏野自衛消防隊を組織し、消火活動協力者として活躍している。

また、本年7月からは青色回転灯装備車によ

る夜間パトロールを実施し、火災原因のトッピングである放火の未然防止に努めている。この機会に武藏野地区における消防体制のあり方について研究したい。

町長 武藏野地区では、平成6年から有志が、武藏野自衛消防隊を組織し、消火活動協力者として活躍している。

また、本年7月からは青色回転灯装備車によ

る夜間パトロールを実施し、火災原因のトッピングである放火の未然防止に努めている。この機会に武藏野地区における消防体制